（別記）

令和８年度金山町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町の基幹作物は水稲であり有効水田面積は約 194ha、うち水稲栽培面積は約 51%にあたる約 100ha である。ほか作付される作物は、そば、野菜（赤かぼちゃ等）雑穀（えごま）となり栽培面積の過半数を水稲が占めている。

地域の担い手である認定農業者や集落営農組織などに農地の集積が進んでいる一方、基盤整備未実施など条件が不利な水田では、担い手の高齢化及び後継者不足により調整水田や自己保全管理、耕作放棄地となる農地の大幅な増大が懸念されている。

夏季の高温や少雨による渇水などの異常気象や鳥獣による農作物被害への対策をすすめながら、認定農業者や集落営農組織等への集積を図るとともに、若手の農業従事者の育成確保に努める必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

（１）適地適作の推進

高収益作物への転換については、ほ場の排水性等のほ場条件の検討を行い各作物に適したほ場での作付推進を図る。

（２）収益性・付加価値の向上

地域振興作物については、町や JA と生産者協議会等との連携により品質の向上を図り、地域のブランド化に向けた取り組みを進める。また、中山間地に適したスマート農業を活用した省力化技術の導入を検討していく。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

（１）地域の実績に応じた農地の在り方

農業従事者の高齢化に伴い、個人での水田農業の継続が困難となっている。認定農業者や集落営農組織等に農地の集積を図りながら、スマート農業を含めた農作業効率上昇とコスト削減による所得向上、高収益作物への転換を推進していく。

（２）水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針

令和 7 年度に交付対象者について点検を行った結果、大多数が水張り（水稲作付け）の意向は無く、引き続き畑作物の作付けを継続していくとの結果であった。本年度も、点検結果を踏まえ、転作作物の作付けが５年以上定着したほ場の生産者に、水張り及び土壌改良資材の施用をする意向、畑地化する意向がないか確認していく。

（３）地域におけるブロックローテーション体系の構築

ほ場条件を鑑みながら、対象ほ場生産者の作付け意向とブロックローテーション実施可能かどうかの確認を進めながら、畑地化への推進も図っていくこととする。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

国の需給情報等を踏まえ、米価下落を防ぐため農業者への情報発信を綿密に行い、需要に応じた米づくりの推進を図るとともに、基幹作物として維持するため、効率よい作業単位の形成と生産性向上を目指す。認定農業者等の中核的農家や農業

法人を中心とし、耕作放棄地が発生しないよう農地の受委託による集約化を図り、経営規模の拡大とコスト削減による利益率の向上を目指す。
　また、酒造会社と提携している酒米生産を今後も継続栽培できるよう支援態勢の充実を図っていく。

（２）備蓄米
　米の需給動向の推移や経営体の意向を注視する。

（３）非主食用米
ア　飼料用米
　該当なし。
イ　米粉用米
　該当なし。
ウ　新市場開拓用米
　該当なし。
エ　WCS 用稲
　該当なし。
オ　加工用米
　該当なし。

（４）麦、大豆、飼料作物
ア　麦、飼料作物
　該当なし。
イ　大豆
　令和５年は１０８a。令和６年は渇水による水稲作付不能農地に転作作物として栽培され面積が１８４a と一時増加し、令和７年は１３６a と減少している。
　ほ場の条件等を鑑みながら推進する。

（５）そば、なたね
　そばは、畑よりも減収となるが転作作物として、収益力及び排水対策など生産技術の向上を図りながら、産地交付金を活用し生産を促進する。令和５年度に担い手集積全面積を畑地化した。
　なたねについては、該当なし。

（６）地力増進作物
　該当無し。

（７）高収益作物
　町の振興作物である「赤かぼちゃ」、「マコモダケ」、「えごま」、「山菜」を中心に６次化などの利活用の促進を図りながら、産地交付金を活用し、転作作物として生産の拡大を目指す。赤かぼちゃについては、令和５年に８８a、令和６年に９０a、令和７年は９３a と増加している。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	99.96	0	100.15	0	102.31	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0	0	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	0	0	0	0	0	0
大豆	1.62	0	1.62	0	2.2	0
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0.19	0	0.19	0	0.22	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	9.56	0	9.56	0	9.93	0
・野菜	8.33	0	8.33	0	8.49	0
アスパラガス	0.07	0	0.07	0	0.18	0
赤かぼちゃ	1.61	0	1.61	0	1.6	0
スイートコーン（とうもろこし）	0.25	0	0.25	0	0.25	0
マコモダケ	0.09	0	0.09	0	0.09	0
うど	0.07	0	0.07	0	0.07	0
ぜんまい	0.54	0	0.54	0	0.54	0
わらび	0.43	0	0.43	0	0.43	0
その他野菜	5.27	0	5.27	0	5.33	0
・花き・花木	0.75	0	0.75	0	0.75	0
・果樹	0.02	0	0.02	0	0.02	0
・その他の高収益作物	0.46	0	0.46	0	0.67	0
えごま	0.46	0	0.46	0	0.53	0
落花生	0	0	0	0	0.14	0
その他	0	0	0	0	0	0
・	0	0	0	0	0	0
畑地化	6.23	0	6.23	0	6.23	0

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	アスパラガス（基幹作物）	地域振興作物助成（Ａ）	作付面積	（令和7年度）0.00ha	（令和8年度）0.11ha
1	赤かぼちゃ（基幹作物）	地域振興作物助成（Ａ）	作付面積	（令和7年度）0.93ha	（令和8年度）1.04ha
1	えごま（基幹作物）	地域振興作物助成（Ａ）	作付面積	（令和7年度）0.38ha	（令和8年度）0.46ha
1	スイートコーン（とうもろこし）（基幹作物）	地域振興作物助成（Ｂ）	作付面積	（令和7年度）0.11ha	（令和8年度）0.11ha
1	マコモダケ（基幹作物）	地域振興作物助成（Ｂ）	作付面積	（令和7年度）0.03ha	（令和8年度）0.03ha
1	うど（基幹作物）	地域振興作物助成（Ｂ）	作付面積	（令和7年度）0.07ha	（令和8年度）0.07ha
1	ぜんまい（基幹作物）	地域振興作物助成（Ｂ）	作付面積	（令和7年度）0.12ha	（令和8年度）0.12ha
1	わらび（基幹作物）	地域振興作物助成（Ｂ）	作付面積	（令和7年度）0.20ha	（令和8年度）0.20ha
1	落花生（基幹作物）	地域振興作物助成（Ｂ）	作付面積	（令和7年度）0.00ha	（令和8年度）0.14ha
2	大豆（基幹作物）	担い手集積支援	作付面積 担い手への集積面積 集積率	（令和7年度）1.62ha （令和7年度）1.36ha （令和7年度）84.0%	（令和8年度）2.20ha （令和8年度）1.94ha （令和8年度）88.2%
2	そば（基幹作物）	担い手集積支援	作付面積 担い手への集積面積 集積率	（令和7年度）0.19ha （令和7年度）0.00ha （令和7年度）0.00%	（令和8年度）0.22ha （令和8年度）0.01ha （令和8年度）4.5%

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：福島県

協議会名：金山町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成（A）	1	23,000	アスパラガス、赤かぼちゃ、えごま（基幹作物）	作付面積に応じて支援
1	地域振興作物助成（B）	1	18,000	スイートコーン（とうもろこし）、マコモダケ、 うど、ぜんまい、わらび、落花生（基幹作物）	作付面積に応じて支援
2	担い手集積支援	1	5,000	大豆、そば（基幹作物）	作付面積に応じて支援。。 特定農作業受委託契約、排水対策実施

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。